



福島放技ニュース

THE NEWS OF THE FUKUSHIMA ASSOCIATION OF RADIOLOGICAL TECHNOLOGISTS

2013

10月31日号

137
VOL.

発行所 公益社団法人 福島県診療放射線技師会

〒960-8003 福島市森合字蒲原16-7 TEL/FAX 024 (559)1043

ホームページアドレス <http://fart.jp/>

巻頭言

副会長就任にあたって



副会長 新 里 昌 一

昨年度の臨時総会を経て今年度の総会で、社団法人福島県放射線技師会から公益社団法人福島県診療放射線技師会へと移行した。齋藤会長から以前にも打診があり、薄々は予想していたが今年度に副会長に就任するとは想定外だった。サッカー好きの普通のオジサンが副会長だから、何も特別なことは出来ない事を最初に断っておく。

私事だが、今年度から勤務する太田西ノ内病院の本館担当技師長に就任した。6号館の運用、電子カルテ導入、サーバのクラウド化、画像配信の地域連携システム立ち上げ、2交代制の拡大と労務管理、高額医療機器の購入交渉等の問題が山盛りの状態である。毎日のように院内委員会等があり、事務仕事にもまだ戸惑っている。最近でも、たまには撮影業務をしたいと思う日々が続いている。

そんな新人技師長の副会長就任に対して、県内一忙しい3次救急の民間病院で勤務する仲間の技師の後押しには大変感謝している。

就任にあたり考えた事は、大柄ではなく謙虚な姿勢を崩さないこと。役職上、多少無理な要望や依頼もしなければならぬ場合もある。でも上から高圧的な態度にならないよう気を付けて、技師長も副会長も役職を遂行して行きたい。トップが謙虚で居ることはカッコ良いと思う、そんな庶民的なリーダーを目指してみたい。

だが、「大ぶへん者」で、周りからは危なっかしく見える場合も多々ある事だろう。何卒、皆さんからのご指摘やご指導をお願いしたい。

よく酒の席では、リラックスして本音が言えると言われている。宴会等を否定する気はないが、酒を飲まなくても普段からリラックスして意見の言える仲でいたいと考える。もともと酒に弱いので、呑んだ席で色々言われても話は覚えていない。

部内では情報公開を進めて、部下から意見を出しやすい環境を整えている。普通のオジサンに対して、部下からの貴重な意見を出してもらおう事で私自身も助かっている。技師会でも、貴重なご意見をしらふで会員の皆さんから積極的に頂きたい。

今年は、11月に第3回東北放射線医療技術学術大会が福島で開催される。以前は技術学会の東北部会として親しまれたが、技術学会と技師会との共催の形となった。

福島から「自ら立つ・守る・ひらく未来」のテーマで、遊佐大会長・丹治実行委員長を先頭に色々な企画を考え練り準備している。演題数も過去最高の数が集まり大いに盛り上がっている。会員には、ぜひ積極的に演題応募や参加をお願いしたい。

また、それに伴い県学術大会を11月開催から2月に変更した。今回は星総合病院を会場として、講演のみの開催となる。興味のある講演を企画したので、こちらにも参加をお願いする。

県技師会ホームページでのカレンダーには、多くの情報を入れて充実を図っている。会員は、日程を確認して数多くの研究会・学会に参加してレベルアップを目指して欲しい。

平成25年度 福島県放射線技師会 第二回理事会 会務報告（議事録抄）

日 時：平成25年9月27日(金)14:00より

場 所：医大病院放射線部カンファランス室

進 行：遊佐副会長

議 題

1. 平成25年度事業執行状況について

各地区協議会

現在までの活動報告を地区毎に行いました。報告した印刷物上に訂正箇所がありました。会津地区協議会全大会の開催日を4月27日に、会津健康祭りの開催場所を福祉文化センターに訂正しました。

各委員会、分科会報告

・総務、企画

定款、諸規定を作成中です。

・精度管理委員会

現在、施設の精度管理は2施設のみ行われている。

各種、計測器の貸し出し等については後でお話します。

・調査委員会

電子カルテについてのアンケート調査を予定しています。

・学術委員会

来年2月に開催予定の県学術大会について、ランチョンセミナーは第一三共をお願いした。会場である星総合病院の費用は1万円程度になる。また、読影セミナー等の開催を予定しています。

・編集、広報委員会

会員名簿は印刷所でゲラ刷りをして確認作業中、総務企画委員会で確認したうえで印刷を行う予定。10月には発送をしたい。定款規定集については齋藤会長が窓口となって印刷会社と調整中。会員名簿と一緒に郵送を考えている。

名簿の掲載を希望しない人は配布する名簿には載せないが、技師会員を把握するため県技師会としては記名の名簿を持つ。

・ネットワーク委員会

メールマガジンの登録数は現在55名となっている。個人だけでなく職場での登録もあるので見てもらっている数はもっと多いのではないかと。また、技師学校の同窓会などリンクを張れないかという件、は同窓会側で県技師会のリンクを張ることは

よいのではないかと。

・生涯教育委員会

東北放射線医療学術大会の受付に関して、カードは日本放射線技師会のカードで受け付け、県技師会のカード持参の人には受付で手書きのカードで発行する。

静脈注射の抜針の講習会は第1回は県北地区で12月1日。第2回は太田西ノ内病院で開催予定、開催条件である20名以上の参加を目指す。

・原発災害対策委員会

7月には出前講座を行った。11月2日、3日には一般市民を対象に市民公開講座としてパネル展示をしたい。

財務報告

収入は現時点で7,887,794円です。また富塚光夫様より10万円の寄付金をいただきました。支出は6,119,781円となり大きなものとして什器備品費の線量計の2,899,470円がある。前年度繰越金と合わせて現時点での残高は6,402,948円となります。

25年度の会費納入状況は会津55%、県南65%、県北72%、浜通79%全体で69%になります。会費未納者のリストを掲載しました。各支部長に連絡します。

今年度から会計事務所で会計をお願いしています。各支部で支出があった時点で事務局から会計事務所に出しています。各支部の財務担当者は支出には必ず領収書を添付して頻りに事務局に提出してください。とりあえず9月末までのものを10月中に中間決算を提出してください。書式は決まったものを送ります。

会費については12月までに収められるような対策を地区でとってください。

日本放射線技師会より6名の会員資格喪失の通知が来ました。これを回復するためには、未納の会費を納める必要があります。

事業報告

各地区協議会で事業を行った場合は規定の様式で提出してください。

講習会や研究会を行った場合その内容と経費の決算書を提出してください。

執行理事の活動報告を各理事に報告しなくてはならないので3か月に一度、メール等で報告します。

地区の委員会の活動も金銭に係ることは報告する。今年の4月からの分を提出してください。

2. 会員名簿、定款、諸規定

会員名簿は先ほど説明した段取りで進めていきます。

定款、諸規定はレイアウトを変更する。また会費納入免除に関する文章が分かりにくいので見直したいと考えます。

3. 衛星携帯電話導入に伴う緊急時連絡体制の整備について

災害等の場合の緊急連絡体制整備のため県から依頼があり、購入についてはメ-ルにて各理事に確認済みです。購入は県の予算で行い、経費は技師会で支払います。来年2月か3月に購入する予定とし、会長が持つということになる。具体的な運用内容については次回まで提出予定とします。

4. 第3回東北放射線医療技術学術大会について

142の演題が集まりました。また、市民公開講座の周知をどうするかを検討しています。予稿集は当初650部を予定していましたが、増刷予定でいます。懇親会は170人くらいを予定しています。パネル展示会場の説明員不足が懸念されるので、県技師会から2~3名応援を出して頂きたい旨の申し入れがありましたので、管理士部会に協力を呼び掛けてみます。その際の経費は県技師会が負担します。市民に対する啓発資料は技師会の事業として配布し、部数は当初予定の500部より多くします。資料は希望があれば会員にも配布し、PDFファイルでも取得できるようにします。

5. 放射線アナライザー「ピラニア」の購入と貸し出しについて

ピラニア借用希望者は氏名、施設名、使用目的、使用期間（原則1週間）を明記したメール、または文書にて各地区の精度管理委員または県理事を通して精度管理委員長に申し込んで下さい。精度管理委員長はピラニアが何処に貸し出されたかを県理事、精度管理委員宛てにメールリストから各位へメールする。

借り受けた人は付属品のチェックおよび使用記録を記載し次の人に渡す。以上の手順を考えています。また、ピラニアの他にも電離箱・GM計数管があります。貸し出しについては、ホームページにて案内を行っています。NaIシンチレーションサーベーターに関しては地区委員長にお問い合わせください。

6. 報告他

富塚光夫様からの寄付について

富塚様には、来年の総会で感謝状を贈り名誉会員に推戴します。

結核対策放射線技師コースの開催について
県からの委託事業であるこの講習会は12月14日に太田西ノ内病院にて開催することに決定しました。

その他

- ・ネットワーク委員会より、各種メーリングリストでアドレスを変更した場合変更の連絡をしてください。また、古い技師会のホームページを開いた場合新しいページにジャンプするようにしました。

- ・技師会ののぼり、旗、横幕を新しく作りました。

- ・ホームページ作成ソフトのバージョンアップに費用がかかる件については、理事会で承認されました。

- ・技師学校の同窓会案内を技師会のホームページやニュースに掲載できないかという件については、ニュースの内容などで余裕があれば可能です。

- ・福島で開催される東北放射線医療学術大会の学術奨励金については、今回は演題が60を超えることや、大会が福島県ではなく東北ということで出さないことにする。来年以降の県の学術大会については、県として支給規定を統一して奨励金を出すことを、次の理事会で決める。

- ・生涯教育での受講ポイント上位者の表彰について、ここしばらく行っていないがもし行うのなら、きちんと広報したうで行いたい。

- ・日本放射線技師会から、放射線技師が分かる本を100部提供された。これを各地区協議会に渡します。使い方は、各地区にお任せします。

- ・会長と県の人との面談があり、放射線技師が充足しているかどうか、離職者を把握しているか、奨学金制度はどうかなど話し合いがなされました。県としては、技師が不足しているのなら大学を作る考えもあるとのことでした。今回の理事会では、現場と県との考えに乖離がありました。本来、求人各施設が行うもので技師会が関与するものではない。ただし、県からの要望でもあるので良いアイデアを考えてください。

～お知らせ～

・ネットワーク委員会より

ネットワーク委員会では、各勉強会・分科会・学術講演会・各地区行事などのお知らせを行っております。メールマガジンにご登録していただくことで、より早く予定を知ることが出来ますので、是非ともご登録をお願いいたします。

メールマガジン登録方法の案内

メールマガジンの配信を希望する方は

fart@star7.jp

に空メール（件名・本文なし）を送信してください。
登録完了メールが届きます。
以上で登録完了です。

メールマガジンでは、分科会、勉強会、学術講演会、地区行事開催案内等のお知らせ、また緊急に会員の皆様にお知らせする内容などについて配信いたします。

・精度管理委員会より

精度管理委員会では、各種サーベイメーターやCTDI測定用ファントムの貸し出しを行っております。

使用をご希望の方は、以下に示す内容を明記された上で、各申し込み先までメールまたは文書にてご連絡ください。

申し込み内容

- ・申し込み施設及び担当者氏名
- ・使用を希望する測定器の名称
- ・使用する目的
- ・貸借年月日（貸出は原則として1週間）

各測定器と申し込み先

- ・QCアナライザー piranha
申し込み：精度管理委員会
用途：X線撮影装置、MMG装置、CT装置
QC、輝度測定

- ・電離箱サーベイメーター

- 申し込み：福島医大
用途：漏洩線量測定

- ・GMサーベイメーター

- 申し込み：福島医大
用途：スクリーニングなど

- ・シンチレーションサーベイメーター

- 申し込み：各地区協議会委員長
用途：環境放射線量測定

- ・CTDI測定用ファントム

- 申し込み：福島医大
用途：CTDI測定

地区だより

いわき地区

「市民フォーラム／救急医療いわき2013」

平成25年9月14日(土)いわき市総合保健福祉センターにおいて、いわき市病院協議会、いわき市医師会、いわき市が共催し、福島県診療放射線技師会浜通り協議会などが後援している「市民フォーラム／救急医療いわき2013」が今年も開催されました。



特別講演「ここまでできる共立病院心臓血管外科」と題しいわき市立いわき共立病院心臓血管外科部長 入江嘉仁先生が現在のいわき市の心臓血管外科的治療の現状、

心臓の病気,治療内容,海外での心臓血管外科治療体験等の話題を交えわかりやすく講演していただきました。

後半は、毎年行っているいわき市消防本部による心臓蘇生,AEDの実技指導をしていただきました。(菅原)

県北地区

県北協議会「勉強会及び交流会」の開催

平成25年9月6日(金)福島テルサにおいて、会員の交流を兼ねた勉強会と夏季交流会が開催されました。今回は救急撮影認定技師である福島医大の田代雅実さんに「救急医療における診療放射線技師の役割」のテーマで講演していただきました。外傷患者診療指針(JATEC)におけるABCDEアプローチについて、また重傷患者移送法や救急画像診断概論など、症例等の提示をしながら大変わかりやすい説明をしていただきました。講師からは「救急医療における迅速な検査の施行と的確な画像情報の提供は、損傷部位の詳細な把握や治療方針の決定に用いられその重要性はますます増加している」とのお話でした。

終了後には「Let's join in emergency medicine!」とのテーマで、認定技師を囲んで気軽にトークできる環境を作った懇親会が行われました。多くの参加者が日頃の疑問や話題を語り合いながら大いに盛り上がっていたようでした。(池田)



会津地区

「第37回A.I.C」の開催

平成25年8月30日に会津インターベンションカンファレンス(通称A.I.C)が、会津医療センターで開催されました。ご存じの通り、会津医療センターは開院してま

だ間もなく、非常にキレイで清潔感のある医療施設でした。

まず症例検討会として、CTについての演題が2例とペースメーカーの遠隔モニタリングの演題が1例ありました。CTに関しては、心臓CTの被曝低減への試み及びアブレーション治療支援画像への低侵襲化とする発表があり、心臓CTへのさらなる改善と精度向上が感じられる内容でした。遠隔モニタリングは、山間部が多くて交通の便が悪い会津に向いているシステムとして、実例を交えての貴重なケースレポートでした。

また今回特別講演として、東京女子医大臨床工学士の熊丸隆司先生にお越しいただき、「カテーテルアブレーションの基礎から臨床まで」と題して、ご講演をしていただきました。アブレーションに使用される様々なデバイスとその使用目的や対象となる心疾患の心電図波形の読み方、さらには最新の治療デバイスまでご紹介していただけて、非常に幅広く興味深いお話を聞くことが出来て、とても有意義な時間を過ごせました。

今回はコメディカル向けの開催内容でしたが、次回はドクター向けの開催内容予定ですので、次回の開催も非常に楽しいモノであろうと期待しております。(森谷)



県南地区

「第5回放射線管理士セミナー」の開催

8月31日ピックアイ郡山において福島県診療放射線技師会放射線管理士部会と神奈川県診療放射線技師会放射線管理士部会主催の「第5回放射線管理士セミナー」が開催されました。原発事故前後の福島県放射線技師会と神奈川県放射線技師会の取り組みや活動の報告がされ、今後の課題などについて意見交換がなされました。また、NAS(横須賀三浦原子力災害特別派遣)チームによるサーベイメーターの使用法セグメント法の紹介があり、実際サーベイメーターを使用しての実習を行いました。特別講演では現職の小学校教諭斉藤孝之先生(田村市立美山小学校)による講演「福島県における放射線教育の現



状～正しい知識を伝える難しさ～」が行われ、原発事故直後から現在までの教育現場の放射線教育に対する取り組みが紹介されました。保護者との折り合いや児童各々の背景を考慮しての指導の難しさを感じることができました。最後にグループワーキングでは「被ばく相談について考えよう」をテーマに6人ずつのグループに分かれ、質問者役や回答者役を演じながら質問者の不安を取り除くことのできる回答を皆で話し合いました。管理士部会では今後もこのような勉強会を開催していく予定ですので皆様の参加をお待ちしています。 (本間)



～お知らせ～

この度、中央医療技術専門学校より、同窓会のご案内掲載の依頼がありました。下記にお知らせいたしますので、関係者の方々はよろしくお願いたします。

中央医療技術専門学校卒業生の皆様へ

中央医療技術専門学校同窓会福島県支部ではホームページを開設いたしました。

URL <http://chuoiryofukushima.web.fc2.com/>です。

今後各種行事案内、お知らせ等を発信してまいります。

卒業生の方は、ぜひ支部登録をお願いいたします。

中央医療技術専門学校同窓会福島県支部

支部長 吉田 豊

編集後記

私たちがニュースを担当しています。会員の皆様へホットなニュースやわかりやすい情報を提供できるよう努めて参ります。ぜひ情報をお寄せください。 (森谷)

県南 (責)	白石 嘉博	星総合病院
県北	池田 正光	福島県立医大
県南	本間 妙	総合南東北病院
会津	森谷 辰裕	会津中央病院
浜通	菅原 正志	福島労災病院
浜通	大井 和広	小野田病院

* 会費の納入はお済ですか？

平成25年度の県技師会会費の納入期限は9月末日でした。

残念ながら、現在未納の方々が会津44名、県南69名、県北46名、浜通32名いらっしゃるようです。事業推進には会費の確保が必要です。

お手元に振込用紙がない方は、JARTにご連絡頂き振込用紙を再送していただく必要があります。

JARTに未入会の方もこの方法でお振込みをお願い致します。

ご連絡先 公益社団法人日本診療放射線技師会事務局 会費収納係
電話：03-5405-3612 (月～金 9:30～17:30) FAX：03-5405-3613